

第22回ピンクリボンレディーステニス大会 by Adminal 岐阜県予選大会

大会名誉 会長	福田 康正
大会名誉副会長	ショーン ヒリアー
大会 会 長	武正 八重子
大会 副 会 長	鈴木 太樹 梶谷 良野 高柳 昌幸 小泉 弘子
大会 委 員 長	藤原 ちえみ
	1) ピンクリボン運動（乳がん早期発見啓発促進運動）を推進する
	2) 女性の目標となる全国規模のトーナメントを開催することにより、女子テニス界の繁栄と活性化をはかる
	3) 日本女子テニス連盟の全国的なネットワークによるスポンサーの認知、拡大をはかる
主 催	日本女子テニス連盟
主 管	日本女子テニス連盟 岐阜県支部
後 援	朝日新聞社
特 別 協 賛	豊通ファッションエクスプレス株式会社 アメア スポーツ ジャパン株式会社
協 賛	東レ株式会社、株式会社島津製作所、株式会社富士薬品
協 力	東レ パン パシフィック オープンテニス、ウインザー商事株式会社 PINKION JAPAN株式会社、株式会社 桃谷順天館、株式会社永谷園ホールディングス 花王株式会社、株式会社 永楽屋、エイ・エフ・エム・ジャパン株式会社 株式会社ケイ・ティ・メディカル、株式会社荏原湘南スポーツセンター
ディレクター	森 有光子
レフェリー	山下 里登美
大会 委 員	牧村洋子 梅田宗子 梶田恵 山本歌子 伊藤清香(SCU) 河合クミ(SCU)
種 目	女子ダブルス 一般の部及び55歳以上の部の2種目
日 時	2025年6月9日(月) 1R~QF 11日(水) SF~F、3位決定戦 予備日16日(月) 受付時間 午前 8:30 ~ 9:00
会 場	岐阜メモリアルセンター長良川テニスプラザ 【室内・室外】 岐阜市長良福光大野2675-28 TEL 058-233-8822
使 用 球	Wilson TRINITI
試 合 方 法	「JTAテニスルールブック2025」に準ずるトーナメント セルフジャッジ(決勝戦はSCU方式),すべての試合にノーアドバンテージ方式を採用 1R~QF 1セットマッチ(6-6タイブレーク) SF・F・3位決定戦 8ゲームプロセット(8-8タイブレーク) コンソレーション 6ゲーム先取(敗者ボール使用) ウォームアップはサービス4本、決勝戦は3分とする
服 装 規 定	テニスウェア着用 長ズボン可 ロゴ規定なし
【全国大会】	各種目の優勝者は10月8日(水)・9日(木)神奈川県荏原湘南スポーツセンターで開催の 全国大会に必ず出場していただきます[交通費:一部負担 宿泊費:自己負担]
【セカンドカップ】	各種目の準優勝者は7月15日(火)・16日(水)長野県やまびこドームで開催の ピンクリボンセカンドカップ東海・北信越大会に必ず出場していただきます [交通費:一部負担 宿泊費:自己負担]
そ の 他	◎優勝者と準優勝者がJLTF非会員の場合は、入会してから必ず出場していただきます *ピンクリボンバッジ売り上げの一部をJLTFで積立、都道府県大会会場・全国決勝大会 会場にマンモグラフィー検診車を派遣する計画です *すべてのプレイヤーを公平に扱います *本要項は天候などのやむを得ない事情により、変更される事があります *試合中に発生した傷害についてはその場にて対応はしますが、以降の責任は負いません ◎天候不良による中止や緊急の連絡はJLTF岐阜県支部ホームページに掲載します

☆☆注意事項☆☆

1. 受付時間までに試合のできる服装に着替え、二人そろって本部に届け出る。遅刻は失格とする。
2. 試合順序は本部掲示板を確認し、指定されたコート付近で待機する。
3. 前の試合終了後、直ちにコートに入り試合を始める。対戦相手が来ない場合はロービングアンパイアを呼ぶ。
4. ポイント間は 25 秒以内とし、エンド交代時は 90 秒以内の休憩とする。第 1 ゲーム終了後とタイブレーク中は休憩なしでエンドを交代する。
5. 試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合の確認をする。

☆セルフジャッジについて（選手自身が判定とコールをします）

1. サーバーはサーブを打つ前にスコアをレシーバーに聞こえる声で言う。
2. ネットより自分側の判定とコールをする。
ボールがラインにタッチした時、見失って判定できなかった時は「グッド」
ボールとラインの間にはっきりと空間が見えた時は「アウト」「フォールト」
3. 相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルで速やかに行う。
代表的なハンドシグナルは、人差し指を出して「アウト」「フォールト」、手のひらを地面に向けて「グッド」
4. ダブルスの判定とコールは、一人のプレーヤーが行えば成立する。しかし、ペアの両選手の判定が食い違った場合はそのペアの失点となる。
ただし、ネット、ストラップまたはバンドに触れたサーブを、一人が「フォールト」、パートナーは「レット（グッド）」とコールした場合は「（サーブの）レット」となる。
5. ペアの判定が食い違ったとしても「フォールト」「アウト」をコールしたプレーヤーが「グッド」に訂正し返球が正しく相手コートに入った場合、1 回目は相手への故意ではない妨害としてポイントレットにする。そして、2 回目以降は故意に妨害したとして失点する。
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット・エースまたは返球が正しく相手コートに入らなかった場合は相手への妨害が起こっていないので、1 回目であってもミスジャッジをしたペアの失点となる。
6. 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」は、両プレーヤー・チームが判定とコールをすることができる。
7. サービスのレットはレシーバー側がコールする。
8. インプレー中、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、「レット」とコールしてそのポイントをやり直す。
ただし、レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打った側の失点。明らかなウイニングショット・エースとなった場合は、そのボールを打った側の得点。
ポイントが終了した後で、妨害があったとしてやり直しの要求はできない。
第 2 サービスのモーションに入った後に妨害があった場合は第 1 サービスからやり直す。
9. 第 2 サービスからのインプレー中、第 1 サービスのフォールトのボールを誤って蹴飛ばした場合は、相手のプレーヤーが妨害と判断した場合「レット」をコールできる。2 回目以降は、その度に相手への故意による妨害となり、失点する。
10. 次の場合はレフェリーまたはロービングアンパイアに速やかに申し出る。
 - ・試合中、トイレ・着替えなどでコートを離れた時
 - ・相手プレーヤーの言動やコール、フットフォールトなどに疑問、不服がある時
11. 試合中に発生したケガや病気の時は、レフェリーまたはロービングアンパイアに要求後、次のエンド交代時（緊急を要する場合は直ちに）、1 部位の症状につき 1 回の M T O が取れ、3 分間の手当てをすることができる。
筋ケイレンの場合、エンド交代の時間内に限り処置をしてもよいが、M T O をとることはできない。

☆試合中にわからない事や困った事が起きたら

ロービングアンパイア(コート付近の通路にいます)を呼んでください。

第22回ピンクリボンレディーステニス大会予選会(一般の部)

2025.6.9

SF

F



第1シード 江藤晴美 ・ 安藤美千子

第2シード 西脇佐和子 ・ 山本育子

第3シード 中島恵子 ・ 目黒かおり

第4シード 武田智子 ・ 松岡那月

第5シード 古林真紀 ・ 山下恭子

第6シード 入木田真希子 ・ 加藤桂子

第7シード 伊塚真紀 ・ 野口純子

第8シード 堀由美 ・ 岡田美穂

第22回ピンクリボンレディーステニス大会予選会(55歳以上の部)

2025. 6. 9

(A)

QF

SF



第1シード 名和恭子 ・ 木野孝子

第2シード 久納智子 ・ 高桑 陽子

第3シード 渡辺美由紀 ・ 服部佳代子

第4シード 浅野しのぶ ・ 白岩美幸

第5シード 武藤純子 ・ 山口育子

第6シード 末木久美子 ・ 工藤栄子

第7シード 原美幸 ・ 佐々木夫美枝

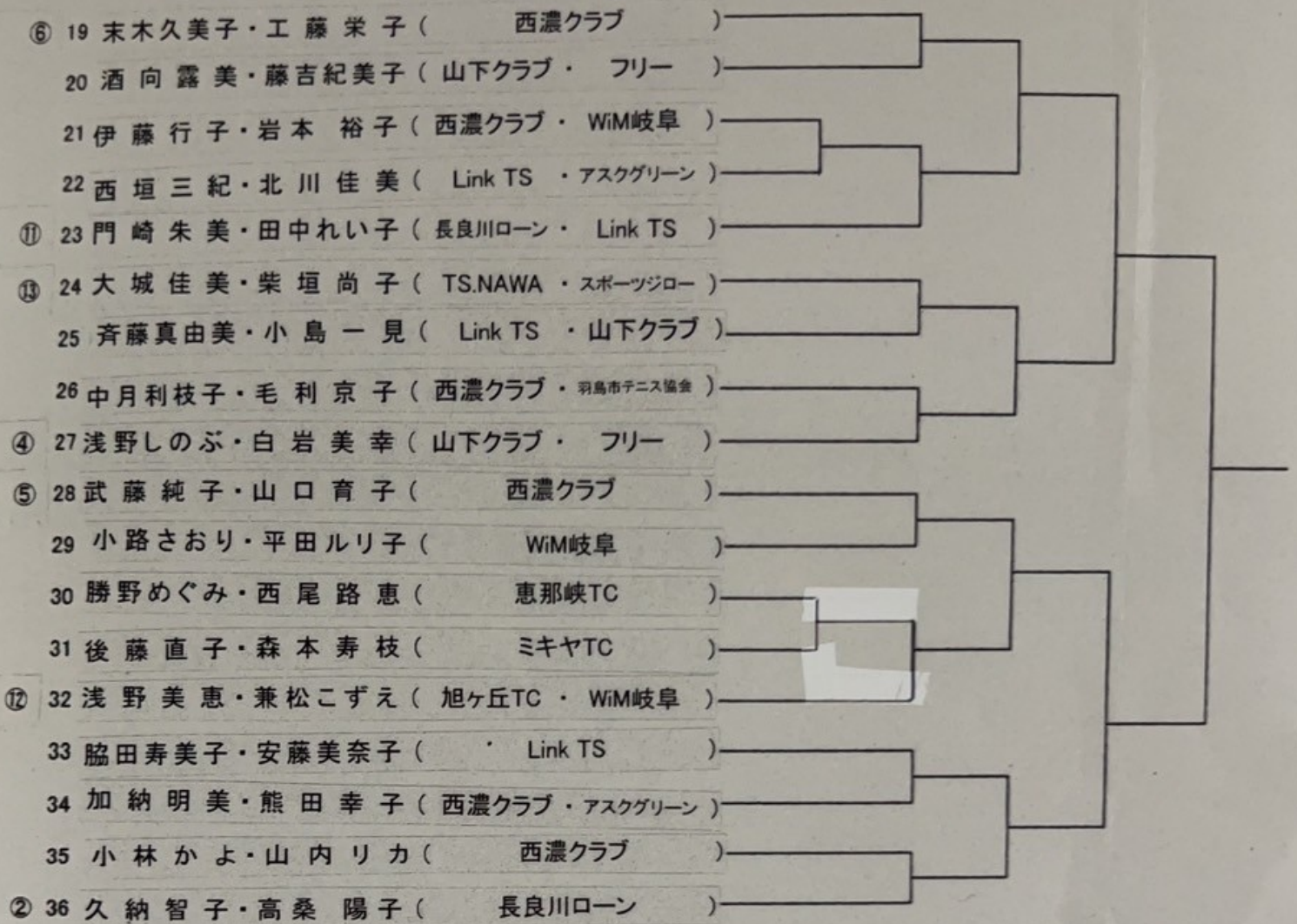
第22回ピンクリボンレディーステニス大会予選会(55歳以上の部)

2025. 6. 9

(B)

QF

SF



第8シード 三鴨緑 ・ 藤井敦子

第9シード 野水美佐子 ・ 藤田緑

第10シード 中嶋美佐子 ・ 亀村千穂

第11シード 門崎朱美 ・ 田中れい子

第12シード 浅野美恵 ・ 兼松こずえ

第13シード 大城佳美 ・ 柴垣尚子

歴代優勝者

開催年	一般の部	50歳以上の部
第1回 2003年	押谷 めぐみ ・ 柏木 政子	角田 泰恵 ・ 名里 美穂子
第2回 2004年	二村 優子 ・ 牧村 洋子	福田 由美子 ・ 山根 福子
第3回 2005年	近藤 洋子 ・ 中野 美和子	藤原 ちえみ ・ 山本 歌子
第4回 2006年	名和 友美子 ・ 宮部 智子	神谷 真佐子 ・ 山田 美鈴
第5回 2007年	田宮 智香子 ・ 二村 洋子	高木 清子 ・ 永田 照子
第6回 2008年	後藤 直子 ・ 森本 寿枝	溝口 美砂江 ・ 柏木 政子
第7回 2009年	西澤 美奈子 ・ 原 美幸	岩井 静子 ・ 西尾 京子
第8回 2010年	後藤 直子 ・ 森本 寿枝	武藤 純子 ・ 山田 美鈴
第9回 2011年	板津 佳恵 ・ 加藤 万由弓	山本 歌子 ・ 柏木 政子
第10回 2012年	古屋 さつき ・ 白岩 美幸	山田 美鈴 ・ 武藤 純子
第11回 2013年	小林 敬子 ・ 竹内 文恵	久納 智子 ・ 高桑 陽子
第12回 2014年	岩崎 しのぶ ・ 波多野 美樹	鈴木 理恵 ・ 武藤 純子
第13回 2015年	清水 桂子 ・ 小林 敬子	渡辺 美由紀 ・ 服部 佳代子
第14回 2016年	岩崎 しのぶ ・ 波多野 美樹	石田 順子 ・ 白岩 美幸
第15回 2017年	樫木 亜希 ・ 小林 敬子	浅野 しのぶ ・ 清水 桂子
第16回 2018年	鈴木 聡美 ・ 倉知 尚代	久納 智子 ・ 高桑 陽子
第17回 2019年	森 有光子 ・ 丹羽 美智子	名和 恭子 ・ 藤井 敦子
オープン2020年	樫村 亜希 ・ 和田 葉子	加藤 万由弓 ・ 鈴木 聡美
	一般の部	55歳以上の部
第18回 2021年	倉知 尚代 ・ 永田 寿子	名和 恭子 ・ 木野 孝子
第19回 2022年	岩崎 忍 ・ 清水 桂子	加藤 万由弓 ・ 鈴木 聡美
第20回 2023年	松井 敏江 ・ 稗田 智晶	渡辺 美由紀 ・ 服部 佳代子
第21回 2024年	加藤 恵 ・ 木寺 奈美	加藤 万由弓 ・ 鈴木 聡美